

令和6年度使用小・中学校用教科用図書 選定及び採択した理由

第25採択地区教科用図書採択協議会

第25採択地区教科用図書協議会では、協議の結果、以下の理由で教科用図書を選定しました。また、上記の結果に基づき、三郷市、八潮市、吉川市の各教育委員会は、以下の理由で教科用図書を採択しました。

種目	発行者 (略称)	選定及び採択の主な理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉についての知識の整理と、練習問題によって言葉の力が確実に定着するよう、小単元を偏りなく配している。 ○ 「季節の言葉」「漢字の広場」においても書く活動を設定し、年間を通じて繰り返し学習することで、定着と活用を図っている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを生かそう」「振り返って話そう」「書き込み欄」を設定し、「集めて使おう書写のかぎ」「書写の学び方」を示すことで、児童が主体的な学び・対話的な学びに取り組み、課題解決が図れるように工夫されている。 ○ イラストと「びた」「ぴん」「すうっ」という言葉を使って、硬筆の筆使いを身に付けるようにしている。
社会	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の見方・考え方を養えるように、各学年の発達段階に応じて「位置・空間」・「時間」・「相互関係」・「比較・分類・関連付け」の4つの視点が示されている。 ○ 社会的事象について、関連性やその意味を捉えることができるよう、「いかす」場面や「まとめる」場面において、多様な表現活動を行うことができるよう、構成が工夫されている。
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の産業のようす」では、写真やイラストを用い、地理的環境の特色に目を向けられるように工夫されている。 ○ 「日本の自然災害と防災」では、日本で過去に起きた災害や、災害に備える取組を扱い、防災マップの作り方を載せるなど、社会的事象について考えることができるように構成されている。
算数	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現実の場面で問題解決に活用する「いかしてみよう」「たしかめよう」など、知識及び技能の定着を確実にし、補充の問題でさらに理解を確かなものにする構成になっている。 ○ 「つないでいこう算数の目」では、数学的な見方・考え方に焦点化した問題で、単元を振り返る工夫がされている。また、生活や次の学習へつなげていくように工夫されている。
理科	学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことを応用する場面や、ものづくりや身の回りの事象に適用し説明をするなどの活動を通して、力がつけられるように工夫がされている。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の「ふりかえろう」で、確実な知識及び技能の習熟と、「活用」の説明活動を通して思考力・判断力・表現力の向上を図ることができる。
生活	学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記録カードの書き方のヒントを示したり、工作物や新聞など、表現活動を多様な例で示したりし、活動の充実を図る工夫をしている。 ○ 学習の終わりに、「もっと〇〇したいな」という資料が掲載され、今後の活動や実生活に結びつくようにしている。
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の柱となる共通事項を見開きの右下に示し、学習のねらいを明確にしている。 ○ 「歌いつごう日本の歌」や「英語の歌」では、教科横断的な内容を扱うことができる工夫が見られる。
図画工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから「アイデアシート」を利用できる。特に「ひらめきショートチャレンジ」では、短時間で発想の方法を知り、気軽に実験的に楽しみながら描くことで、造形的な発想の方法を学ぶことができる。 ○ 各題材で必要なつくり方や技能・知識は写真やイラストで明示され、巻末にまとめられている
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」では、生活の中で気が付いたことを表現できる機会になっており、思考を深めるように工夫されている。 ○ 「生活の課題と実せん」では、課題解決の5つのステップが明確に提示され、実践例が具体的で、児童の思考力を支え、発想を豊かにするように工夫されている。
保健	光文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元冒頭の「見つけよう」では、自分の生活を振り返った後に「学習課題」の確認があり、見通しをもった、構成になっている。 ○ アスリートの言葉や運動についての資料、中学校への接続を意識した学習資料が掲載され、児童が生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができる。
英語	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全単元の最初に「Our Goal」で目標を提示しており、1つ目のパートでインプット、2つ目のパートで定着を図る練習、3つ目のパートでアウトプットする構成になっている。 ○ 別冊「My Picture Dictionary」には、日本地図・世界地図、「CAN-DOの樹」、ローマ字表などがある。また、「英語を使って会話を広げよう！」では、会話を続けるための表現が確認できる。
道徳	学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いのち」を最重要テーマとして「生命の尊さ」の教材を各学年に3本配置し、複数教材を組み合わせた「いのちのユニット」で考えを深めるよう工夫している。 ○ 教材の最後の「考えよう」には、児童が自己を見つめるきっかけとなる問いが設定され、「深めよう」には、3つのステップを通した授業展開が掲載されている。